

第 6 表

乳 化 剤	陰 イ オ ン 型		陽 イ オ ン 型			非 イ オ ン 型	
	ラウリルアル コール硫酸エ ステル塩	アルキル・ア リル・スルホ ン酸ナトリウ ム	オクタデシル ・トリメチル ・アンモニウ ムクロライド	ドデシル・ト リメチル・ア ンモニウム・ クロライド	ドデシル・ピ リジニウム・ クロライド	ポリエチレン グリコール・ モノラウレ ン	ポリエチレン グリコール・ モノラウリ ルエーテル
最適濃度		0.7%	0.7%		6%以上	5%以上	5%以上
最適 η 数						22~35	22~35
重合速度	遅い	速い	普通	普通	遅い	遅い	遅い
重合度	普通 (1000~1300)	低い (700~1400)	普通 (1000~1400)	やや高い (1000~1800)	きわめて低い (850)	普通 (1000~1300)	普通 (1000~1300)
熱安定性	普通 (0.6)	悪い (0.6~1.2)	普通 (0.6~0.7)	良好 (0.3~0.5)	きわめて悪い (2.0)	良好 (0.3~0.6)	やや良好 (0.4~0.8)

カルは油相または乳化剤のミセル中で生じ、ここで重合反応が行われるのであろう。

最後に乳化剤の種類による長所、短所を一括して見ると第6表のようになる。(過酸化水素触媒の場合)

4. あとがき

ポリ塩化ビニルの熱安定性を考慮して、過酸化水素、

過酸化ベンゾイルを触媒として乳化重合を行った研究についてその概要を報告した。目下総合試験研究として行っているポリ塩化ビニルの絶縁性向上の研究と共にさらに種々の観点より研究を続行している。この研究を行うに当り絶大な御便宜を計つていただいた工業技術院東京工業試験所水谷久一技官に深謝の意を表する。

(1952.7.30)

第44回 自動制御研究会

日 時 6月24日(火) 午前10時~午後4時
場 所 学士会館(赤門前)
出 席 者 59名
発 表 表 1 「ボイラの A. C. C. について」
2 「船のオートパイロットについて」
3 「自動制御用語私案」
4 文献紹介「ボイラの圧力制御の問題; B. W. K.; Nov. 1951, Oetkar u. Schröder」
5 「Hitachi Tuning Dynamo について」

寺野氏(運研)
鈴木氏(北辰電機)
今尾氏(日立研)
u. Schröder
高橋氏(東大生研)
今尾氏(日立研)

次回 8月19日(火) 学士会館 午前10時~午後4時

編 集 後 記

◇本号は応用化学並びに冶金——すなわち化学系のための寄稿によつて編集した。はじめは化学上のあるテーマによる特集とする希望もあつたが結局各自の専門について自由に書いていただくことになつた。従つて化学特集であるが、特集号という名は載せないことにした。

◇我田引水の感はあるが、化学工業は貧乏国日本の大いに力を注ぐべき

ものと思う。そういう意味で編集の目標に少し不明確ならみはあつたが、久し振りで化学の特集としたことは悪い企画であつたとは思っていない。
◇なお本号は巻末に筆者紹介、ニュース、また各編のはじめの解説等を省略した。もちろん頁数の関係がその主な理由であるが、必ずしも従来の型をとらうしゅうしなくてもよからうと思つたからでもある。(S.O.)

編 集 委 員

編集委員長 友田 宜孝
編集委員 小川 岩雄 渡辺 勝
水町 長生 石原 智男
松永 正久 沢井善三郎
野村 民也 野崎 弘
*久松 敬弘 *岡 宗次郎
星 埜 和 浜口 隆一
星野 昌一
編集幹事 下村潤二郎
編集室 水野 清明
誠文堂新光社 清水 憲一
(* 印は当番委員)

本誌のバックナンバー合本在庫が僅少あります。至急御申込下さい。

昭和25年下半年期470円 千50円
// 26年上 // 490円 //
// // 下 // 545円 //
// 27年上 // 575円 //

第4巻第10号 生産研究 定価130圓 地方賣價135圓(郵税4圓)
1952年9月25日印刷 1952年10月1日発行

編集者 友田 宜孝
東大生産技術研究所
千葉市千葉局内彌生町
電話 千葉 366-370
発行者 小川 誠一郎
印刷者 井 關 好彦
印刷所 大同印刷株式會社
東京都千代田區神田錦町3-1
發行所 株式會社 誠文堂新光社
東京都千代田區神田錦町1-5
電話 神田(25) 2126-2129
電 報 東京 6294・6567